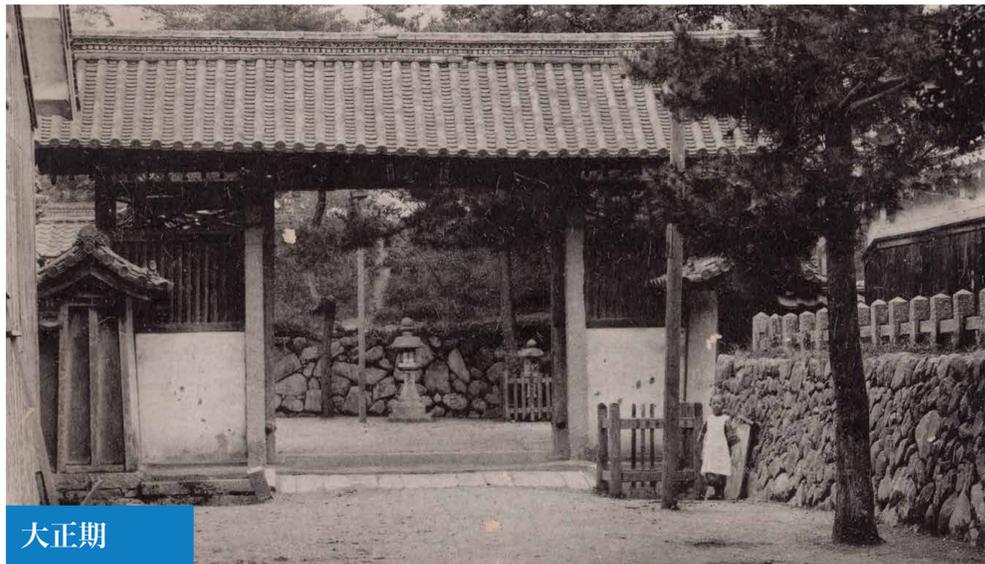


このまちの100年

「茨木」

茨木は中世に茨木城の城下町として始まり、江戸初期に廃城となると、商工業で栄えました。明治期には郡役所や旧制中学校も置かれるなど地域の中心地となり、昭和23年に茨木市に。戦後は京阪間の住宅地としても発展しました。



大正期

茨木城は現在の茨木市立茨木小学校付近にあった。茨木神社の東門は搦手門(からめてもん)を移築されたものといわれる



大正期

西国三十三所の霊場として古くより多くの巡礼者が訪れる、総持寺



大正期

大阪府茨木中学校(現在の大阪府立茨木高等学校)には日本初となる学校プールが開設された



昭和戦前期

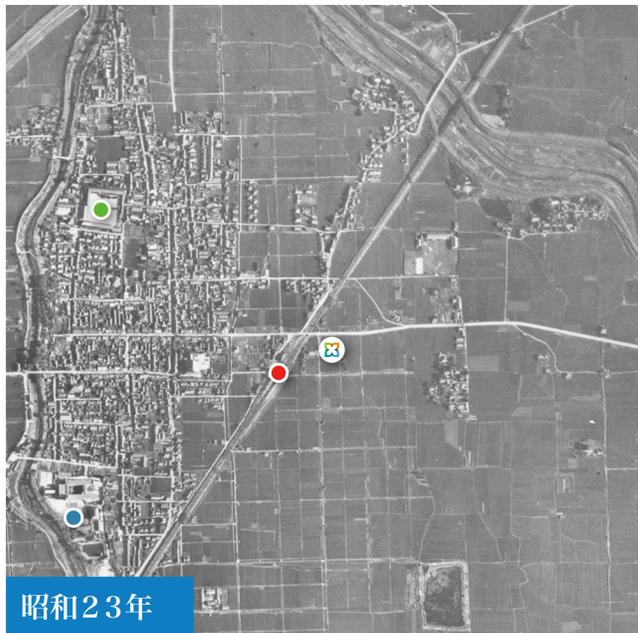
大正12年創設の名門ゴルフ場、茨木カンツリー倶楽部



昭和41年頃

茨木市大池付近を北東から望んだ空撮。この一帯では、昭和30代から戸建て住宅や集合住宅が立ち並ぶようになった

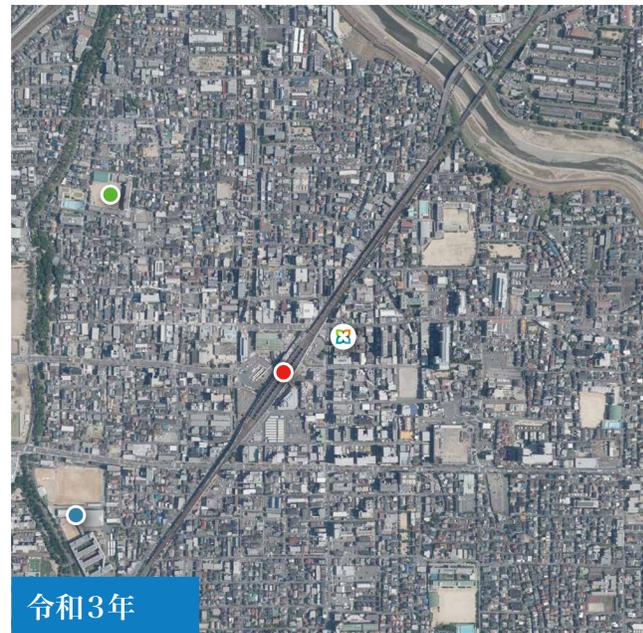
上空からみた茨木エリア



昭和23年



昭和54年



令和3年

: 現在地
 : 大阪府立茨木高等学校 : 茨木市立茨木小学校 : 茨木市駅

出典：国土地理院「地図・空中写真閲覧サービス」(一部加工)

編集：株式会社コロマチ